



# かわらばん！<sup>プログラム</sup> 10

## 無理なく楽しみながらの8年間 移動販売に見る交流と生きがい



### 能美市商工女性まちづくり研究会

平成31年2月26日(火) 11時～12時

「寺井地区公民館」において、移動販売に関わる方や、関心を持つ市民の方々36名が集い、8年間継続している移動販売の活動を知り、その思いについて話し合われました。

月	火	水	木	金	土	日
					2/23	2/24
2/25	2/26	2/27	2/28	3/1	3/2	3/3

### 内容

全国的にも、そして能美市でも、地域で生鮮食料品などが買える店が減少し、運転免許を返納したことで買い物に不便を感じる人々が増える中、能美市商工女性まちづくり研究会が「無理なくできることを、楽しく続ける」をモットーに今から8年前に始めた移動販売の活動についてビデオを視聴し振り返りました。

個別配達ではなく、受入れ町会の地域福祉委員会と連携した地域拠点をまわる移動販売は、地域に必要とされ、地域に密着した生活支援の活動となり大変喜ばれていること。また、販売だけでなく逆に住民が畑で作った野菜等の買取りも行っていることなど、人と人とのふれあいが深まり、互いにやりがいや生きがい、元気パワーを感じ合うまでの関係が築かれてきたことを確認しました。

### まとめ

移動販売に関わるメンバーや受入れ側の鍋谷町・岩本町等の方々が温かい思いや感謝の言葉を述べ合ったことにより、移動販売活動から交流へ、そして見守り合う信頼関係づくりへとつながってきたことに、参加者からは、多くの称賛の声が聞かれました。

そして、今後ますます必要となる活動であり、継続を期待して、後継者の人材募集等の必要性についても話し合うことができました。

- ・ボランティアする人、受ける人、共に生き生きとしている。お互いが元気をもらっている。買い物をする人も畑で作っている野菜等を売りに出していることがわかり、互いに生きがいにつながる仕組みが素晴らしいと思いました。
- ・みんなでみんなを支えるという事を伝えて頂いて良かったです。
- ・買い物弱者というより人間関係を築く取り組みだと思いました。



『何よりも人とのコミュニケーションが広がり、心がつながっていることを感じている。』との意見に感動!!

